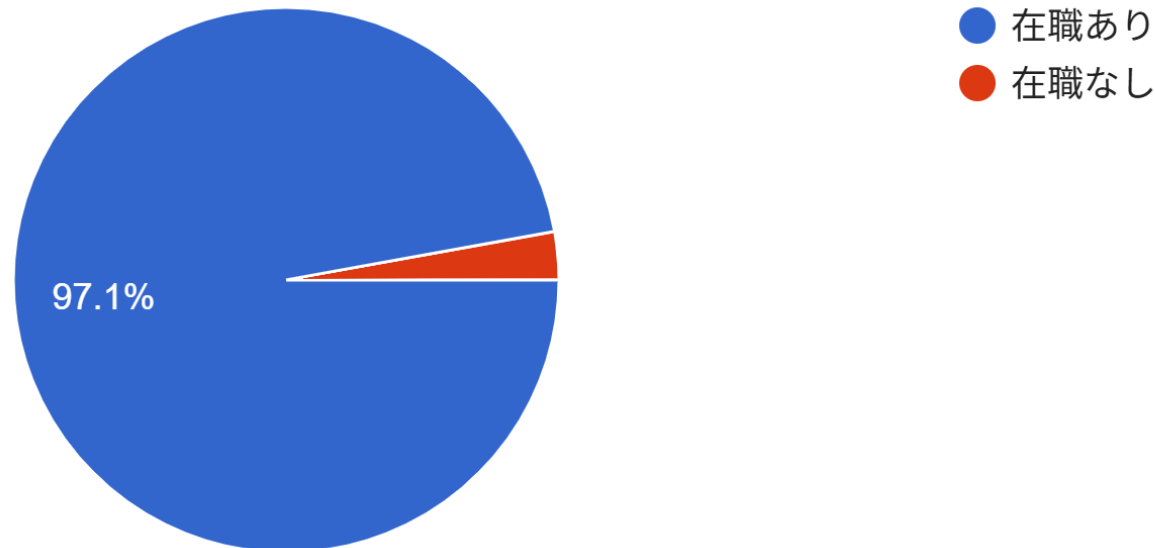


2025年度 こども教育宝仙大学 卒業生就職先に対する調査 (結果集計)

- 調査期間2025年9月1日～10月31日 (質問紙調査)
- 卒後2年目の卒業生(20生)の就職先62件に郵送で配布
- 事業所・園名は問わない形で回答するよう依頼
- **回答率： 56.5% (35件)**

卒業生の在職状況



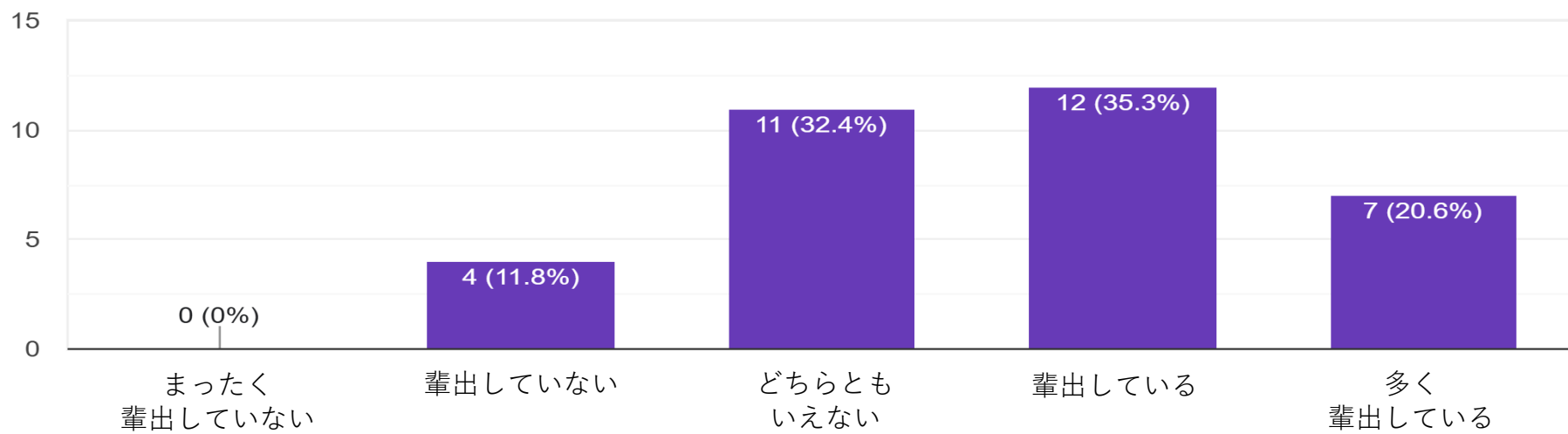
回答協力園・施設の所在地（単位：件）

東京23区									
中野区	新宿区	江戸川区	杉並区	大田区	港区	葛飾区	練馬区	世田谷区	
3	1	1	3	1	1	2	6	2	
東京市部									
国立市	狛江市	東村山市	八王子市	三鷹市	小平市	東久留米市			
1	1	1	1	1	3	1			
都外					回答合計35件				
千葉県	埼玉県	神奈川県	群馬県	岩手県					
千葉市	川口市	川崎市	館林市	花巻市					
1	1	1	1	1					

DP 1：「人間性が豊かで社会性に富み、他者との円滑なコミュニケーションができる」の達成度

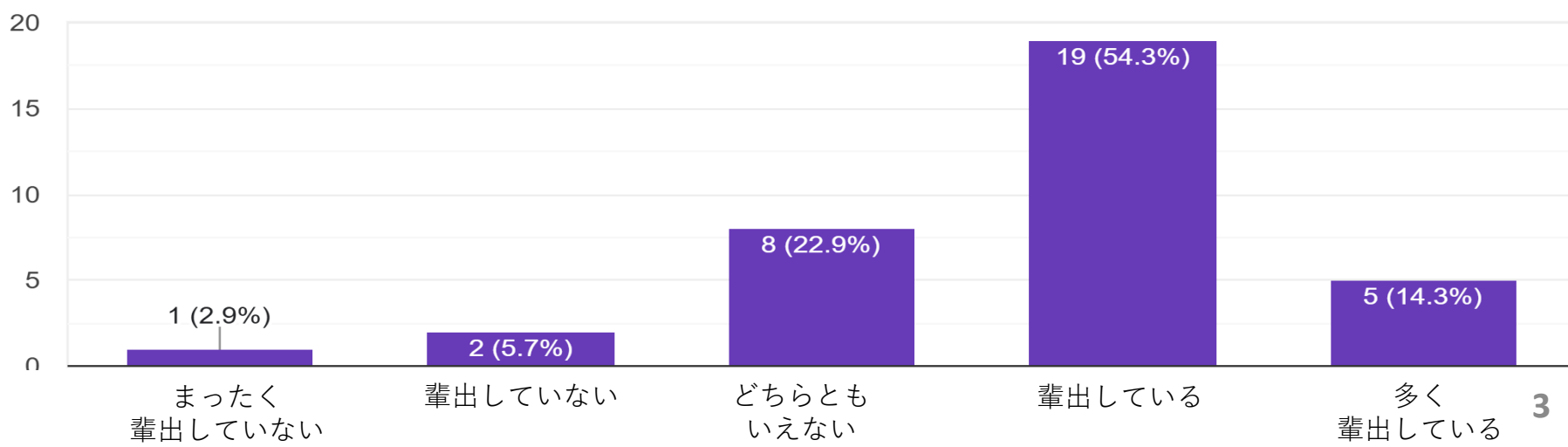
①相手の意見をていねいに聴き、自分の意見をわかりやすく伝えようとする

34件の回答



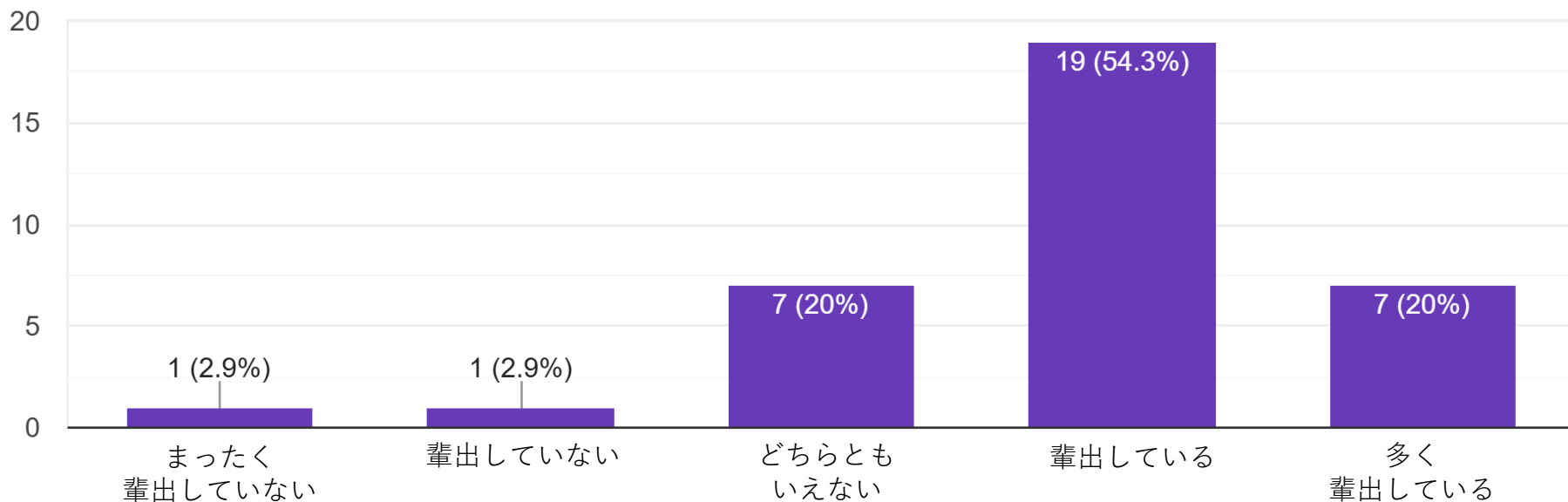
②意見の違いや立場の違いを柔軟に理解しようとする

35件の回答



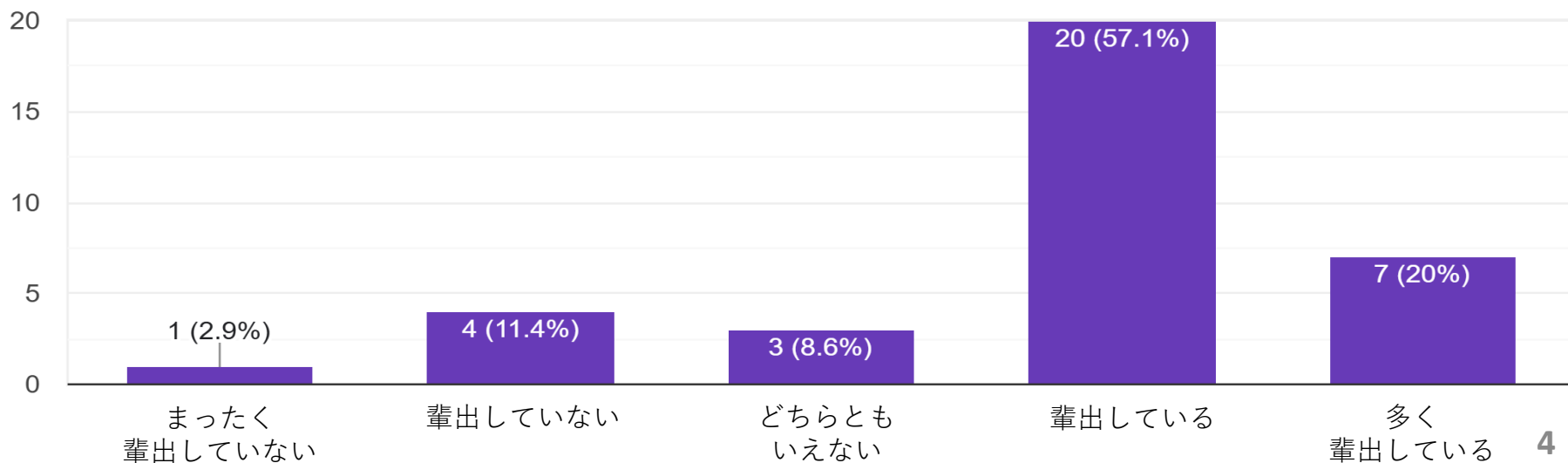
③他者と協力して行動しようとする

35件の回答



④社会や職場のルールやマナーを理解し、行動しようとする

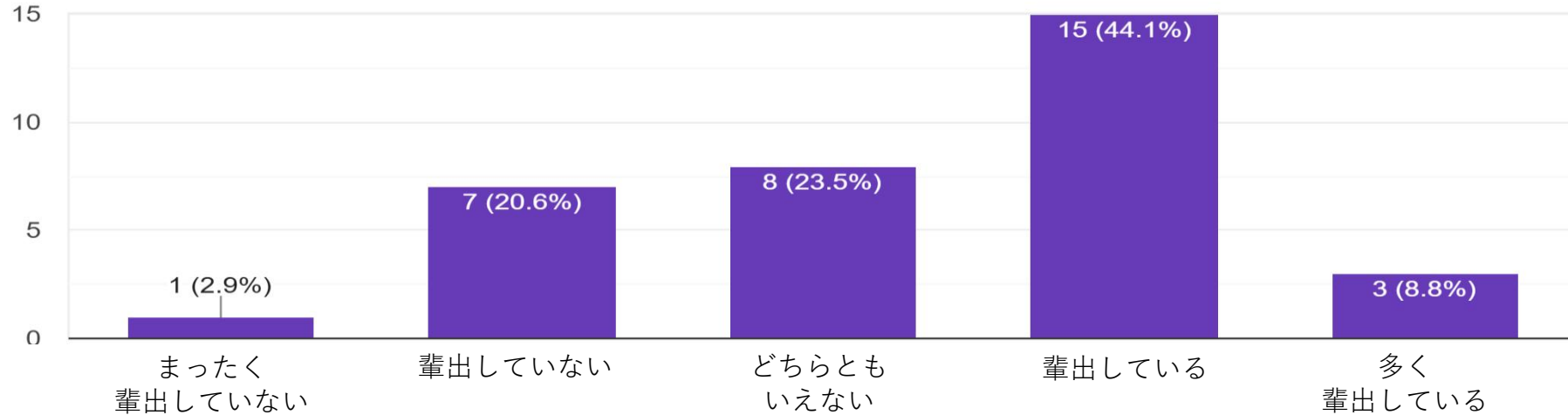
35件の回答



DP 2：「溢れる情報と多様化した社会の中で、変化に即した判断ができる」 についての達成度について

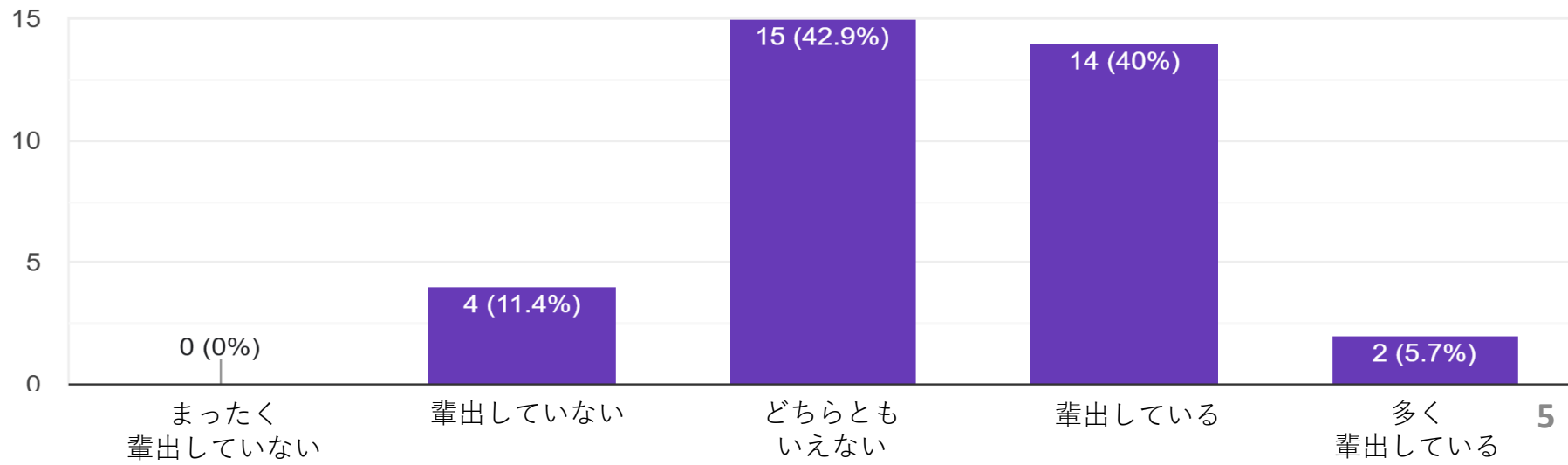
①必要な情報を積極的に得ようとする

34件の回答



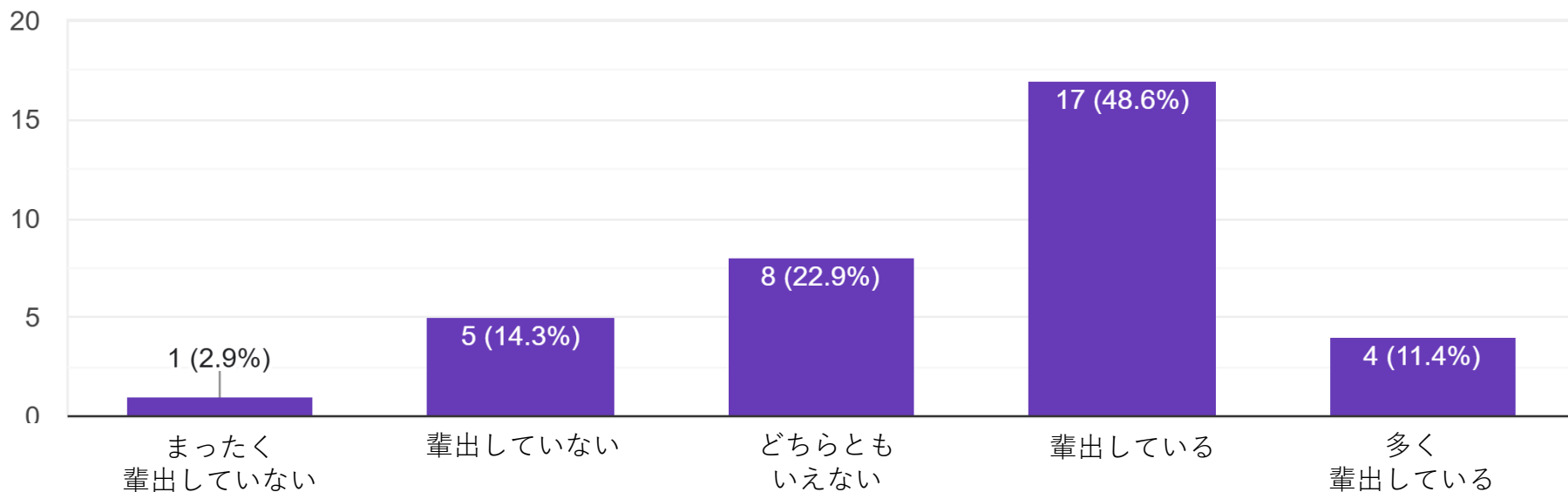
②収集した情報に基づいて適切な判断が出来る

35件の回答



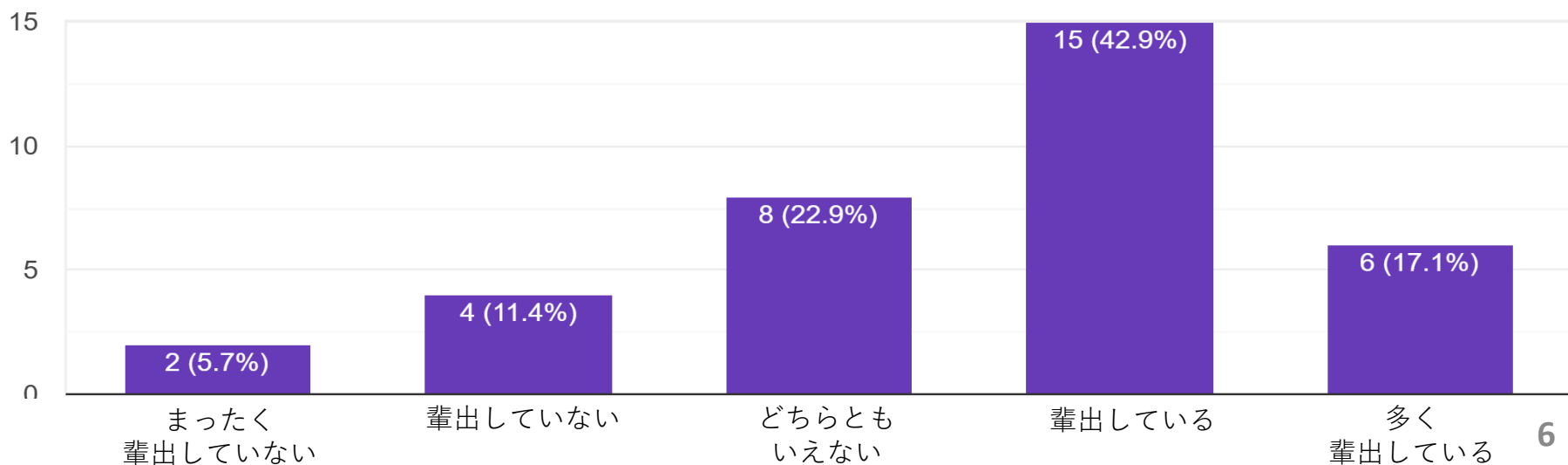
③自らの判断に責任を持つとする

35件の回答



④状況の変化に対応して臨機応変に行動しようとする

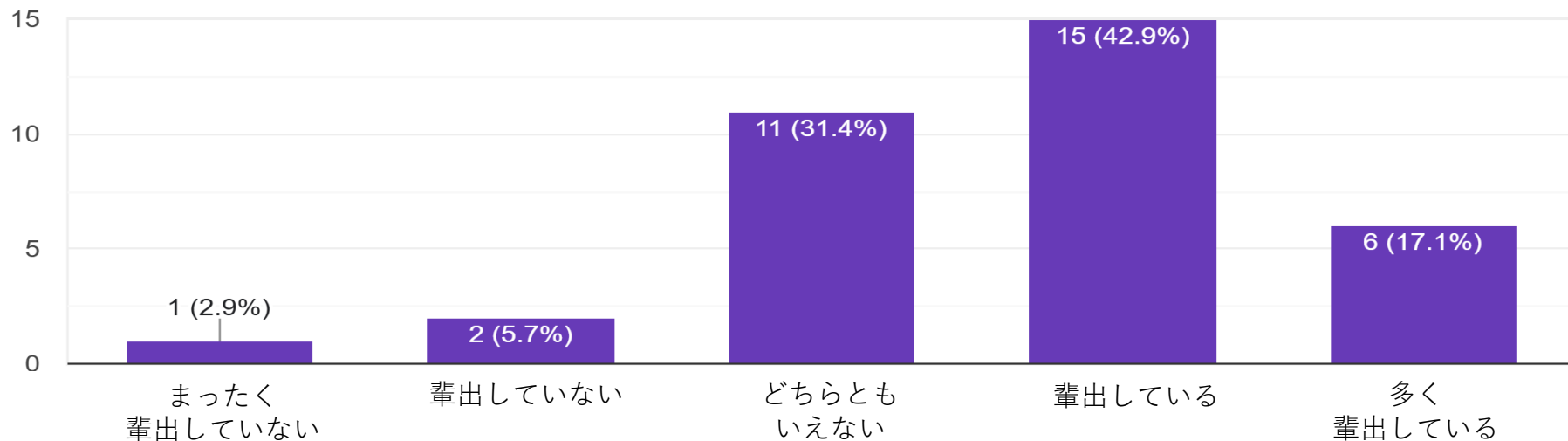
35件の回答



DP 3：「専門知識や技術を適切に駆使でき、絶えずそれを向上させようとする努力することができる」の達成度について

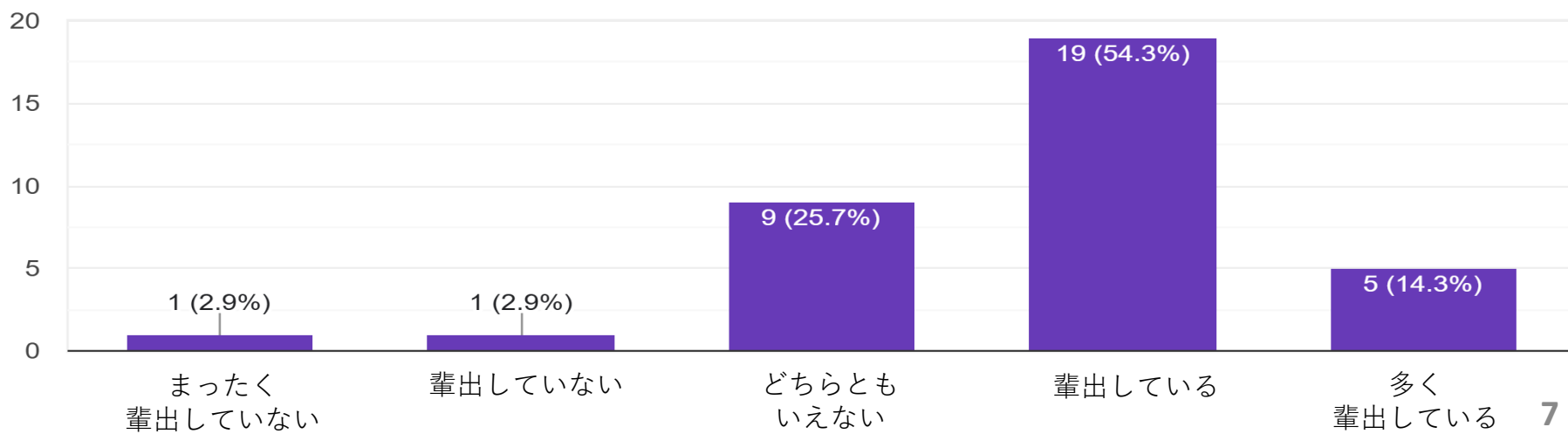
①必要な知識や技術を身につけようとする

35件の回答



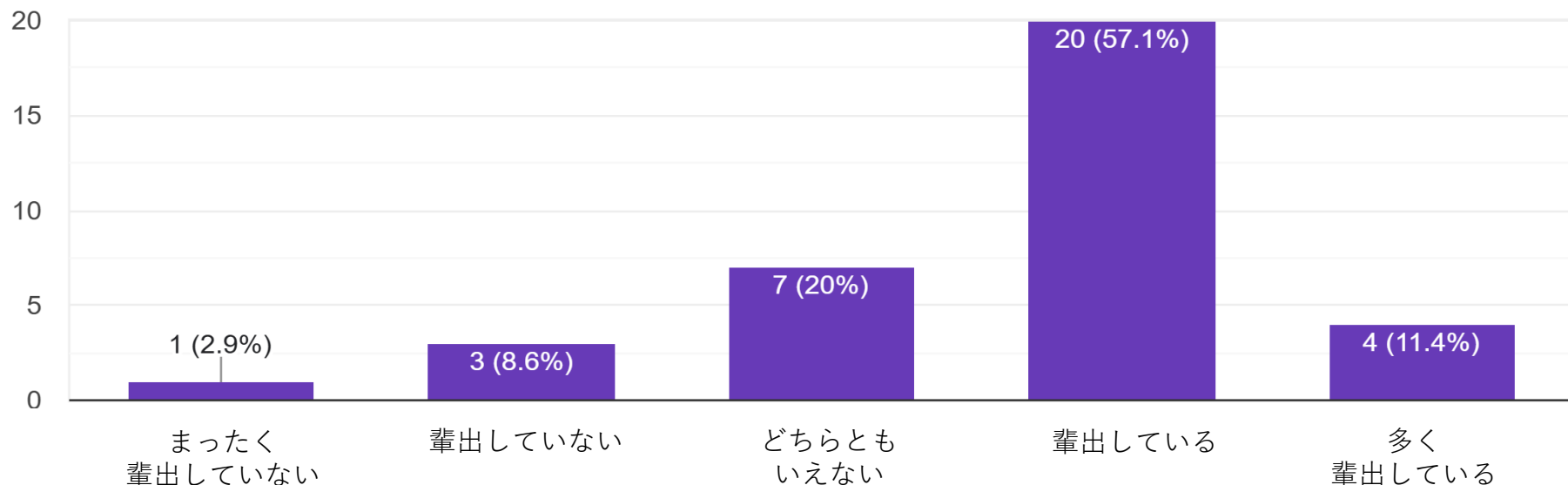
②自らの知識や技術を実践に生かそうとする

35件の回答



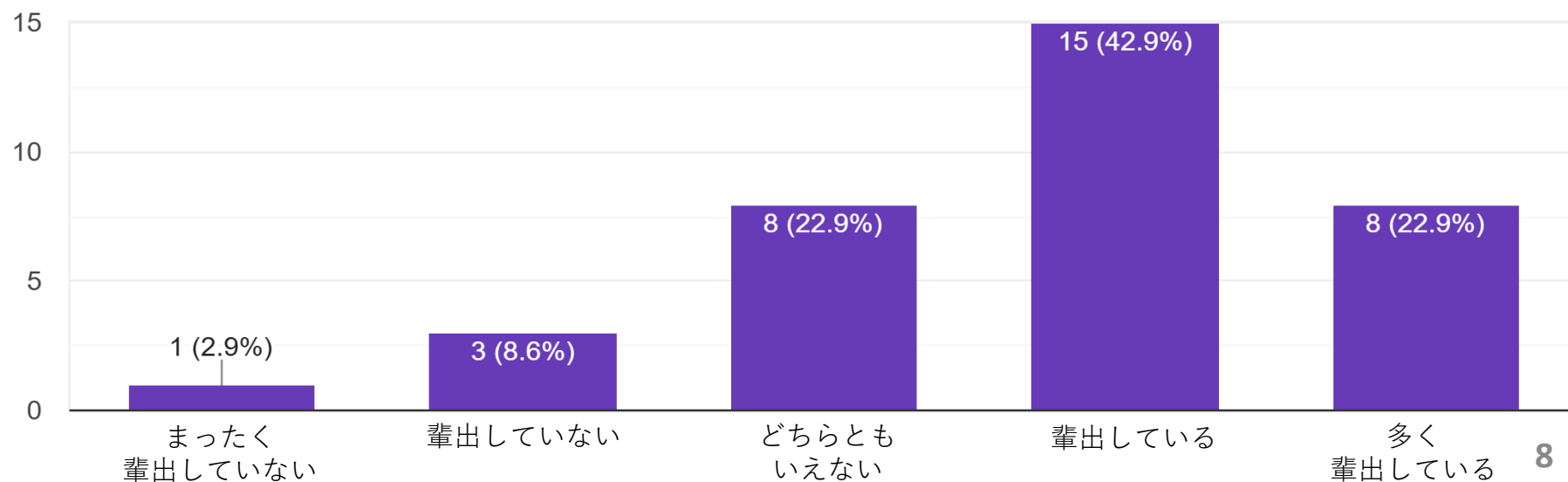
③知識や技術を生かした実践を振り返り、改善しようとする

35件の回答



④必要な技術や知識を向上させようとする意欲がある

35件の回答



本学の保育者養成において、今後より力点を入れることが望ましい点（5つまで選択）

項目	回答数 (施設数)	回答の 割合(%)
⑪コミュニケーション力の向上	28	82.4
⑦マナーや一般常識の教育	20	58.8
⑥文章作成力など基礎学力の向上	15	44.1
③保護者対応や地域支援についての教育	14	41.2
①保育実践の土台となる理論や知見の教育	13	38.2
②保育技術の教育	12	35.3
④保育記録についての教育	11	32.4
⑤インターンシップやボランティア等による保育実践経験	9	26.5
⑬実習先や就職先との連携	7	20.6
⑩ICT教育	5	14.7
⑭卒業生と大学との連携	4	11.8
⑨多文化共生教育（海外経験や語学力の向上）	2	5.9
⑫キャリア教育	2	5.9
⑧仏教教育など教養教育	0	0
⑨多文化共生教育（海外経験や語学力の向上）	2	5.9

回答いただいた園における 本学卒業生の在職・退職状況（単位：件）

		1名	2名	0名
入職1年目	在職	0	0	35
	退職	1	0	34
入職2年目	在職	31	3	1
	退職	0	0	35
入職3年目	在職	1	0	33
	退職	0	0	35
入職4年目	在職	2	0	33
	退職	0	0	35